

I. 妊婦管理の改善に関する研究—妊産婦死亡防止対策の確立

分担研究者

東京女子医科大学

武田佳彦

研究協力者

日本母性保護医協会

本多洋

東京大学

岡井崇

浜松医科大学

川島吉良

高知医科大学

相良裕輔

九州大学

中野仁雄

鹿児島市立病院

池ノ上克

弘前大学

斉藤良治

日本医科大学

荒木勤

1) 妊産婦死亡の原因分析

妊産婦死亡における偶発一般合併症の関与についての分析

研究概要

日本母性保護医協会においては、1980年から妊産婦死亡症例の全国支部組織を通じての登録・集計を行ってきた。

これらの症例の調査票にもとづく集計分析は全309例についてのものを詳細に実施して、先年度に報告したが、死亡症例の報告はその後増加し、1991年末までに約400例に達している。

なお、平行して数名の研究補助者とともに各症例の個別の分析・評価もすすめているが、このようにして、これらが終了したものが380例に達している。

これらについては、来年度により症例を増やして詳細な検討・分析を行う予定であるが、本年度における検討報告としては、妊産婦死亡における偶発一般合併症の関与が非常に大きく、しかも最近にいたってその頻度が増加してきているとの認識のもとに、蓄積された症例の中でどのような合併症が存在したかを調べてみることにした。

現在までに個別検討のすんだ380例のうちから、死亡に直接影響したと思われる合併症を有したと判断されるものを挙げると、別表のごとくになるが、例数としては実に77例にも達し、全死亡例の20%強になる。このことは、妊産婦における偶発合併症の医学的管理が今後ますます必要になることを示唆するものである。

なお、今回挙げた合併症には、妊娠前から判明していたもののみならず、死亡時の医学的診断(解剖も含む)により判明したものも加えてある。いずれも、直接、間接に母体の死亡に関与しているものに限っている。また妊産婦死亡にいたった病態の結果生じた全身的合併症(例えば出血性の貧血、DICなど)は除いてある。

また、この種の妊産婦死亡群の特性を明らかに

するために、年齢・経産回数・死亡時妊娠週数・分娩との時期的関係についても調査した。

研究結果からの考察

症例を通覧してみると、やはり心疾患の合併症が多いことに気づく。とくに心臓外科の進歩にともない、行われるようになった弁置換手術後のものが、3例も含まれている。このことは、心臓手術の成功例でも妊娠・分娩には危険がともなうことを心臓外科医にもよく認識してもらう必要があることを示すものである。

次ぎに多いのは、脳の動静脈奇形にもとづく脳出血の症例である。これは妊娠前に診断されることはまれであるとはいえ、妊娠・分娩により、その破裂を招きやすいことが示唆され、妊娠中に頭痛などの兆候があれば、ためらわずに脳外科医の診断・処置をおおぐことが死亡防止のための一助となると考えられる。

また糖尿病を基盤として、各種の異常に陥り、死にいたった症例も数例認められた。糖尿病は胎児に影響が大きいことがよく認識されているが、母体にとってもリスクが大きくその管理の重要性が痛感される。

腎疾患も複数例において認められた。この場合、腎不全というよりも感染に対する抵抗力の減弱のためか敗血症による死亡に結びつくことが多いようであった。

肝疾患も数多く認められたが、急性肝炎と考えられる感染症のもの以外に急性妊娠脂肪肝AFLPとしてもさしつかえないと思える症例も含まれている。

また精神病の合併例も3例認められている。この場合は長期の薬物服用があると考えられ、それによる心筋障害などが起こりうるといえるので

やはり精神病の合併は妊娠にとってのハイリスク
と考えたい。

他には気管支ぜん息，膠原病，すい臓炎などが
比較的日常生活しがちなもので注目された。

きわめてまれなものとしては，エーラ・ダンロ
ス症候群，マルファン症候群，もやもや病，急性
リンパ性白血病などが登録されている。

症例一覧（順序不同）

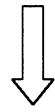
No. reg.No.	complication	process	outcome	age	prty	wks	dlv
1. No.150	慢性すい炎	（ただし全前置胎盤）	分娩後大量出血	34	2-p	28週	後
2. No. 4	劇症肝炎	（肝破裂）	腹腔内出血	30	2-p	39週	後
3. No. 84	食道静脈瘤	（破裂）	吐血	23	1-p	34週	後
4. No. 67	心疾患とのみ	（肺水腫）	心不全	27	0-p	31週	後
5. No.279	僧帽弁閉鎖不全		心不全	26	0-p	25週	前
6. No. 61	R h (-)		弛緩出血	28	0-p	40週	後
7. No.298	胸部大動脈瘤破裂		胸腔内出血	24	不明	15週	中
8. No.221	てんかん	（発作時気道閉塞）	呼吸不全	24	0-p	32週	前
9. No.248	心筋障害	（人工中絶）	敗血症	34	2-p	6週	後
10. No. 97	肝機能障害	（人工中絶）	敗血症	27	0-p	23週	後
11. No.263	気管支ぜん息		呼吸不全	34	2-p	35週	前
12. No.256	肺繊維症		心不全	34	0-p	32週	後
13. No.267	大動脈炎症候群、肥大型心筋症		心不全	30	0-p	34週	前
14. No. 78	マルファン症候群		心不全	25	0-p	34週	後
15. No.149	くも膜下出血		脳障害	22	0-p	29週	後
16. No. 71	ウイルス性心筋炎	（I U F D・帝切）	心不全	24	0-p	30週	後
17. No. 84	発作性頻拍症		心不全	29	1-p	31週	後
18. No.157	人工弁置換術中		心不全	35	0-p	30週	前
19. No.271	もやもや病	（脳出血）	脳出血	32	2-p	26週	後
20. No.292	脳動静脈奇形		脳出血	26	不明	30週	前
21. No.240	転移性肝・胆嚢癌		腹腔内出血	32	1-p	30週	後
22. No. 99	僧帽弁狭窄・不全	（弁置換後）	心不全	32	2-p	24週	前
23. No.161	甲状腺機能亢進症	（クリーゼ）	心不全	28	0-p	不明	後
24. No.146	精神疾患	（薬物服用）	急性肺炎	22	1-p	不明	後
25. No.284	気管支ぜん息		呼吸不全	30	1-p	不明	前
26. No.202	心疾患	（心不全既往）	心不全	33	1-p	19週	前
27. No. 66	劇症肝炎	（D I C）	多臓器不全	24	1-p	23週	前
28. No.245	心弁膜症		心不全	30	1-p	22週	前
29. No.288	重症腎盂腎炎		弛緩出血	31	2-p	40週	後
30. No. 18	糖尿病	（昏睡）	脳障害	24	不明	41週	後
31. No.119	くも膜下出血		脳障害	36	2-p	38週	後
32. No. 10	脳動静脈奇形	（脳出血）	脳障害	25	0-p	33週	前
33. No.125	混合性結合織病・肺高血圧症		心不全	26	0-p	28週	前
34. No.304	劇症肝炎	（黄疸・昏睡）	肝機能障害	28	2-p	35週	後
35. No. 28	急性すい臓え死・破裂		腹腔内出血	28	1-p	31週	前
36. No. 42	イレウス	（帝切後麻痺性）	心不全？	29	1-p	41週	後
37. No.224	くも膜下出血		脳障害	24	0-p	40週	後
38. No.103	脳動静脈奇形	（脳出血）	脳障害	33	3-p	40週	後
39. No.223	本態性高血圧・肝機能障害		脳出血	33	4-p	38週	前
40. No. 75	本態性高血圧症	（脳出血）	脳障害	33	0-p	37週	前

41. No.130	下大静脈破裂	後腹膜出血	24	0-p	33週	後
42. No. 58	くも膜下出血	(C/S後ショック) 脳障害	33	0-p	40週	後
43. No.261	ネフローゼ症候群	(重症中毒症) 羊水塞栓	33	0-p	35週	後
44. No. 6	交通外傷	(帝切) 腎不全	22	0-p	35週	後
45. No.177	心筋症	(帝切) 心不全	43	0-p	31週	後
46. No.116	結腸癌	(肝転移) 肝不全	38	1-p	25週	後
47. No.175	心筋症	(人工中絶) 心不全	26	2-p	25週	後
48. No.208	心弁膜症	(弁置換後) 心不全	31	0-p	39週	後
49. No. 73	エーラ・ダンロス症候群	(出血傾向) 分娩後出血	25	0-p	41週	後
50. No. 32	心肥大	(帝切) 心不全	29	1-p	35週	後
51. No.182	肝癌	(十二支腸穿孔) 腹膜炎	28	0-p	33週	後
52. No.143	胃・十二支腸穿孔	(原病不明) 腹膜炎	36	2-p	32週	前
53. No.154	持続性肺高血圧症	(帝切) 心不全	29	1-p	32週	後
54. No.156	拡張型心筋症	心不全	32	0-p	34週	後
55. No.234	膠原病・腎疾患	産褥敗血症	27	1-p	39週	後
56. No.265	肝炎・先天副腎低形成	(死産) 分娩後出血	32	1-p	26週	後
57. No. 12	うつ病	(HELLP?) 肝不全	34	3-p	35週	中
58. No.239	心疾患とのみ	(人工中絶) 心不全	33	2-p	9週	中
59. No.181	急性肝炎	(死産AFLP?) 肝機能障害	30	2-p	37週	後
60. No.107	急性肝炎	(帝切AFLP?) 肝機能障害	27	0-p	35週	後
61. No.280	糖尿病・急性すい炎	(早剥DIC) 多臓器不全	35	0-p	32週	後
62. No.311	脳動静脈奇形	(脳出血) 脳障害	26	0-p	41週	後
63. No.315	糖尿病	(昏睡) 脳障害	43	3-p	38週	中
64. No.317	癌性腹膜炎	(卵巣癌) 心不全	33	0-p	23週	後
65. No.321	腎疾患・膿毒性乾癬	敗血症	30	0-p	40週	後
66. No.322	糖尿病	(帝切後感染) 敗血症	39	2-p	40週	後
67. No.324	心室中隔欠損・僧帽弁不全	・Rh(-) 心不全	23	0-p	33週	後
68. No.340	糖尿病・高血圧・腎疾患	(帝切) DIC・多臓器不全	31	1-p	35週	後
69. No.354	慢性腎不全	(感染) 敗血症	31	2-p	38週	後
70. No.358	精神分裂病	(薬物服用) 心不全	33	0-p	38週	前
71. No.378	脳腫瘍	(嵌頓) 脳障害	27	1-p	40週	後
72. No. 41	糖尿病	(重症中毒症) 羊水塞栓?	38	2-p	40週	後
73. No.293	急性リンパ白血病	腎不全・MOF	28	1-p	23週	前
74. No.241	小脳出血	(帝切) 脳障害	33	1-p	36週	後
75. No. 94	高血圧症	(早剥) DIC・MOF	38	3-p	34週	後
76. No.297	脳出血	(帝切) 脳障害	36	2-p	34週	後
77. No.122	脳性麻痺	(誘発分娩) 羊水塞栓	29	0-p	41週	中



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究概要

日本母性保護医協会においては、1980年から妊産婦死亡症例の全国支部組織を通じての登録・集計を行ってきた。

これらの症例の調査票にもとづく集計分析は全 309 例についてのものを詳細に実施して、先年度に報告したが、死亡症例の報告はその後も増加し、1991 年末までに約 400 例に達している。

なお、平行して数名の研究補助者とともに各症例の個別の分析・評価もすすめているが、このようにして、これらが終了したものが 380 例に達している。

これらについては、来年度により症例を増やして詳細な検討・分析を行う予定であるが、本年度における検討報告としては、妊産婦死亡における偶発一般合併症の関与が非常に大きく、しかも最近にいたってその頻度が増加してきているとの認識のもとに、蓄積された症例の中でどのような合併症が存在したかを調べてみることにした。

現在までに個別検討のすんだ 380 例のうちから、死亡に直接影響したと思われる合併症を有したと判断されるものを挙げると、別表のごとくになるが、例数としては実に 77 例にも達し、全死亡例の 20%強になる。このことは、妊産婦における偶発合併症の医学的管理が今後ますます必要になることを示唆するものである。

なお、今回挙げた合併症には、妊娠前から判明していたもののみならず、死亡時の医学的診断(解剖も含む)により判明したものも加えてある。いずれも、直接、間接に母体の死亡に関与しているものに限っている。また妊産婦死亡にいたった病態の結果生じた全身的合併症(例えば出血性の貧血、DIC など)は除いてある。

また、この種の妊産婦死亡群の特性を明らかにするために、年齢・経産回数・死亡時妊娠週数・分娩との時期的関係についても調査した。